

2019年8月30日

## 世界カチン議会：ビルマ軍は Hkalam Samson 牧師に対する根拠のない告発を取り下げなければならない

世界カチン議会は、「ホワイトハウスで、ドナルド・トランプ大統領に故意に誤った情報を与えた」として、ビルマ陸軍北部地域の副司令官 Than Htike 中佐によって、Samson 牧師に対する告発がなされたことを強く非難します。2019年7月18日、ホワイトハウスにおいて、Samson 牧師はトランプ大統領に、ビルマのキリスト教徒がビルマ軍に抑圧され、拷問を受けていること、そして彼らが宗教の自由を奪われていることを伝えました。

2011年以來、10万人以上のカチン市民（ほぼすべてキリスト教徒）が移動を強制され、何数百もの人々が拷問され、殺害され、そしてカチン地域の199の教会が破壊されました。キリスト教の牧師は、ビルマ軍の手によって逮捕、拷問、そして殺害されました。一部のカチン族は、拘束と拷問の間、十字架に立たされ、嘲りをうけました。カチンの女性は教会の建物や敷地内で拷問され、強姦され、殺されました。一部の地域では、教会のサービスが妨害され、新しい教会の建設が禁止されています。

したがって、トランプ大統領に対する牧師の証言は完全に真実であり、世界中のカチンによって裏付けられているものです。Samson 牧師に対する刑事告発の根拠はまったくありません。

Samson 牧師は、発言の中で、米国がビルマ軍の Min Aung Hlaing 最高司令官と他3名のビルマ陸軍将校に対して制裁措置を科したことに謝意を表しました。Samson 牧師に対する根拠のない告発の背後に Min Aung Hlaing 最高司令官がいることは間違いありません。Samson 牧師に対する告発の前日（2019年8月26日）、Min Aung Hlaing 最高司令官は Pyinmana のキリスト教徒とイスラム教徒に寄附を行いました。これは明らかに、ビルマ軍が宗教の自由を尊重すると見せかける演出の試みであり、おそらく Samson 牧師に対する告発の準備のために行われたものです。

世界カチン議会は、以下の点を強く訴えます：

ビルマ軍に対して：

- Samson 牧師に対するすべての告発を直ちに取下げること
- 人権擁護者を迫害することで、少数民族コミュニティとの過度の緊張を扇動することを止めること
- 独立した公平な国際監視チームを招き、ビルマに宗教的抑圧がないという陸軍の主張を検証すること

NLD 政権へ：

- 平和、正義、民族の平等のために働いている人々を支援し保護すること
- ビルマ軍を文民の管理下に置くための即時行動を取ること

国際コミュニティへ：

- ビルマ政府に、ビルマ軍が人道に対する罪とジェノサイドの責任を持つよう圧力をかけること
- ビルマに武器禁輸措置を科すこと
- すべてのビルマ軍のビジネスに対して的を絞った制裁を科すこと

### 連絡先:

Mr. Nsang Gum San (米国)

Phone: +1 443 415 8683

Mr. Zauring Hpunggan (ニュージーランド)

Phone: +64 021 183 1134

Mr. Myitung Naw Ja (チェコ共和国)

Phone: +420 604 220 209

Mr. John La Seng (カナダ)

Phone: +1 416 910 8475